

平成26年度事業報告

社会福祉法人 小田原支援センター

1 次の事業を設置経営し、地域の障害者の福祉向上に努めてきました。

障害福祉サービス事業

(1) 就労継続支援B型	小田原アシスト	定員40名
(2) 就労継続支援B型	第2小田原アシスト	定員20名
(3) 共同生活援助	喜心寮	定員5名
(4) 地域活動支援センター	小田原スプリングス	定員20名

就労継続支援B型、小田原アシストならびに第2小田原アシストは、利用者の登録人数が少し増え、出席率も増加し年間をとおして安定的な事業運営ができました。本年度、1名が一般企業に就労しました。

地域生活援助事業は、5名の利用者の方がおり、安定して地域生活を送ることが出来ました。

地域活動支援センターの小田原スプリングスは、利用者の入れ替えはあまりなく今年度も落ち着いた1年を過ごしました。年度途中、1名の方が一般企業に就労することが出来ました。

HONDAの作業を中心としながらも、様々な作業種を持ち、障害程度や本人の意向に沿った作業を提供し、働く施設として活動できました。

全体を通して、利用者の方にも大きな事故やけが等もなく、落ち着いて過ごせた1年であったと思います。

2 理事会、評議員会の開催状況

第41回理事会、

平成26年5月26日(月)

- 議題
- 1 平成25年度事業報告について
 - 2 平成25年度収支会計報告について
 - 3 監事監査結果について
 - 4 評議員の選任について
 - 5 理事と理事長の選任について
 - 6 理事長職務代理者の指定について

第40回評議員会

平成26年5月26日（月）

- 議題
- 1 平成25年度事業報告について
 - 2 平成25年度収支会計報告について
 - 3 監事監査結果について
 - 4 評議員の選任について
 - 5 理事の選任について
 - 6 監事の選任について

第42回理事会、第41回評議員会

平成26年10月31日（金）

- 議題
- 1 新評議員の選任について
 - 2 最近の法人の状況について

第43回理事会、第42回評議員会

平成27年3月26日（木）

- 議題
- 1 平成26年度補正予算について
 - 2 平成27年度事業計画について
 - 3 平成27年度収支予算について
 - 4 経理規定の改定について
 - 5 自主製品販売所の新設について

3 作品展の開催

10月に、昨年にひきつづきダイナシティウエスト（SEIBUデパート）の吹きぬけ広場キャニオンを借用し、作品展を開催いたしました。

また、昨年度同様、3月には小八幡の三寶寺にて、作品展を開催いたしました。日頃から利用者がボランティアの方々と活動を展開してきた文化、創作活動（音楽・陶芸・絵画・絵手紙・書・七宝・刺し子・編物・パッチワーク等）の発表の場であり、障害者についての啓蒙活動ができたと思います。

平成26年度事業報告

社会福祉法人 小田原支援センター
就労継続支援B型 小田原アシスト

1 はじめに

全体での登録者は減少しましたが、出席率は増加しています。
作業の中心である自動車部品の作業は減少傾向にありましたが、その他の軽作業を導入し、作業量自体は確保することが出来、利用者の安定した生活を支えることが出来ました。

2 利用者の状況

月	開所日	登録者数	出勤延人数	1日平均出勤人数
4	20	44	701	35.1
5	20	44	695	34.8
6	22	44	743	33.8
7	22	41	762	34.6
8	16	41	560	35
9	22	41	779	35.4
10	23	41	822	35.7
11	20	43	731	36.6
12	20	43	731	36.6
1	21	43	774	36.9
2	20	43	724	36.2
3	23	42	826	35.9
計	249		8848	

1日平均出席人数 1日35.5人（昨年度34.5人）

3 職員の状況

援助職員数は、利用者数：援助職員数は7.5：1で配置し、さらに、目標工賃達成指導員を配置しています。

- ① 管理者1名 ② サービス管理者1名（常勤）
- ③ 援助職員 職業援助員1名（常勤） 目標工賃達成指導員1名（常勤）
生活援助員7名（非常勤） 常勤換算7名

4 援助の状況

(1) 就労支援（授産活動）

自動車部品の作業は減少傾向にありましたが、自主製品（パン、ケーキ、クッキー、陶芸等）や軽作業を導入することで作業量は確保することが出来ました。

授産事業決算書参照。

① 企業からの受注作業

- ・進和学園より提供されるホンダ技研自動車部品の組み立て
- ・スタンレー電気の部品組み立て
- ・ボールペン等の組み立て
- ・その他軽作業

② 自主製品製造販売

- ・パン・ケーキ等の製造販売
- ・陶芸等

② 工賃支払い状況

月	支給総額	工賃 最低～最高
4	442,300円	600～33,600
5	355,500円	100～25,000
6	494,300円	300～34,400
7	420,700円	200～29,300
8	365,200円	700～25,300
8月賞与	212,800円	200～15,500
9	470,100円	700～33,700
10	423,400円	200～28,200
11	514,600円	500～35,400
12	447,300円	400～26,000
12月賞与	222,400円	300～15,500
1	382,200円	300～21,200
2	512,600円	500～35,100
3	441,700円	800～30,100
計	5,705,700円	月平均 11,433円

今年度も昨年度と同程度の工賃を支払うことが出来ました。

(2) 文化・創作活動

多くのボランティア（20名余）の技術指導等の協力を得て、陶芸、七宝、絵画、書、絵手紙、パッチワーク、刺し子、音楽、編物の文化・創作活動を日常生活に取り入れ、定期的に展開してきました。これらの活動をとおして利用者は意欲的に物事に取り組む生活態度や自信を培い、豊かな心と潤いのある生活を過ごすことができました。これらの活動の成果は、10月に開催したダイナシティ（SEIBU）の1階吹き抜けにて作品展を開催し、障害福祉の大切さを市民に伝えることができました。

また、3月にも小八幡の三寶寺にて作品展を開催し市民への啓蒙活動と自主製品の販売を行いました。

（3）行事の実施

月	内 容	場 所 等
4	しゃぶしゃぶ昼食会	しゃぶ葉
5	バス旅行	伊豆方面
6	津波避難訓練	小田原ビジネス高校にて
6	みんなの集い	小田原アリーナ
6	避難訓練	支援センター
9	夕涼み会	支援センター
9	バス旅行	東京方面
10	避難訓練	自治会との合同訓練
10	作品展	ダイナシティウエスト
11	ボウリング大会	シティモール
12	落語鑑賞	寿 庵
12	忘年会	海鮮ふじ丸
12	クリスマス昼食会	各事業所にて
1	成人と永年勤続を祝う会	小田原市民会館
3	健康診断	神山クリニック
3	納め会	強羅、太陽山荘
3	作品展	小八幡 三寶寺

* 年6回誕生食事会を実施。

（4）健康管理と安全の配慮

健康診断、自治会合同の避難訓練、津波避難訓練を実施しました。

5 職員研修

県社協、市社協、知的障害者施設協会等の研修にも順次参加した。

日時 平成27年3月31日（火）午後13時30より15時30まで
職員全員で「障害者の人権」について学習会を行った。

平成26年度事業報告

社会福祉法人 小田原支援センター
就労継続支援B型 第2小田原アシスト

1 はじめに

全体での登録者は、21名になり1日の平均出席者数も19.7名となっています。

作業の中心である自動車部品の作業は減少傾向にありましたが、その他の軽作業を導入し、作業量自体は確保することが出来、利用者の安定した生活を支えることが出来ました。

2 利用者の状況

月	開所日	在籍数	出勤延数	1日平均出勤人数
4	20	20	371	18.6
5	20	20	376	18.8
6	22	21	426	19.4
7	22	21	442	20.1
8	16	21	320	20
9	22	21	434	19.7
10	23	21	462	20.1
11	20	21	409	20.5
12	20	21	410	20.5
1	21	21	404	19.2
2	20	21	404	20.2
3	23	21	463	20.1
計	249			19.7

平均出席人員 1日 19.7人 (昨年度18.5人)

3 職員の状況

援助職員数の、利用者数：援助職員数は7,5：1で配置し、また目標工賃達成指導員も配置しました。

① 管理者1名（兼務） ② サービス管理者1名（常勤）

② 援助職員 職業援助員1名（常勤） 生活援助員2名（非常勤）
目標工賃達成指導員1名（非常勤）

4 援助の状況

(1) 就労支援（授産活動）

自動車部品の作業は減少傾向にありましたが、自主製品（パン、ケーキ、クッキー、陶芸等）や軽作業を導入することで作業量は確保することが出来ました。

授産事業決算書参照。

① 企業からの受注作業

- ・進和学園より提供されるホンダ技研車部品の組み立て
- ・ボールペン等の組み立て
- ・ケーキ袋のシール貼り
- ・その他軽作業

② 自主製品製造販売

- ・パン・ケーキ等の製造販売
- ・陶芸等

③ 工賃支払い状況

月	支給総額	工賃 最低～最高
4	217,300円	1,900～15,300
5	181,900円	2,700～11,600
6	260,200円	4,200～15,400
7	230,700円	3,500～14,700
8	200,900円	3,400～12,300
8月賞与	112,000円	2,000～7,000
9	249,100円	5,400～16,100
10	220,900円	4,500～14,200
11	276,100円	5,300～17,400
12	249,400円	5,100～15,100
12月賞与	119,000円	2,500～7,500
1	183,000円	3,300～12,100
2	261,800円	4,400～16,200
3	233,500円	5,000～14,000
計	2,995,800円	月平均 11,983円

今年度も昨年度と同程度の工賃を支払うことが出来ました。

(2) 文化・創作活動

多くのボランティア（20名余）の技術指導等の協力を得て、陶芸、七宝、絵画、書、絵手紙、パッチワーク、刺し子、音楽、編物の文化・創作活動を日常生活に取り入れ、定期的に展開してきました。これらの活動をとおして利用者は意欲的に物事に取り組む生活態度や自信を培い、豊かな心と潤いのある生活を過ごすことができました。これらの活動の成果は、10月に開催したダイナシティ（SEIBU）の1階吹き抜けにて作品展を開催し、障害福祉の大切さを市民に伝えることができました。

また、3月にも小八幡の三寶寺にて作品展を開催し市民への啓蒙活動と自主製品の販売を行いました。

（3）行事の実施

月	内 容	場 所 等
4	しゃぶしゃぶ昼食会	しゃぶ葉
5	バス旅行	伊豆方面
6	津波避難訓練	小田原ビジネス高校にて
6	みんなの集い	小田原アリーナ
6	避難訓練	支援センター
9	夕涼み会	支援センター
9	バス旅行	東京方面
10	避難訓練	自治会との合同訓練
10	作品展	ダイナシティウエスト
11	ボウリング大会	シティモール
12	落語鑑賞	寿 庵
12	忘年会	海鮮ふじ丸
12	クリスマス昼食会	各事業所にて
1	成人と永年勤続を祝う会	小田原市民会館
3	健康診断	神山クリニック
3	納め会	強羅、太陽山荘
3	作品展	小八幡 三寶寺

* 年6回誕生食事会を実施。

（4）健康管理と安全の配慮

健康診断、自治会合同の避難訓練、津波避難訓練を実施しました。

5 職員研修

県社協、市社協、知的障害者施設協会等の研修にも順次参加した。

日時 平成27年3月31日（火）午後13時30より15時30まで
職員全員で「障害者の人権」について学習会を行った。

平成26年度事業報告

社会福祉法人 小田原支援センター
共同生活援助 喜心寮

1 はじめに

今年度も利用者の入れ替えなく、5名の男子利用者に対し安定した住環境を提供し、安心して地域生活が送れるよう援助をしました。

2 利用者の動向

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
援助	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
計	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

3 利用者の現況（平成26年3月31日現在）

喜心寮

No	性別	年齢	収入（含年金）	勤務先	担当市町村	支援区分
1	男	26	85,000	第2小田原アシスト	小田原市	区分3
2	男	55	85,000	小田原アシスト	山北町	区分3
3	男	59	85,000	小田原アシスト	小田原市	区分1
4	男	52	100,000	ヤオマサ	小田原市	区分2
5	男	26	85,000	小田原アシスト	横浜市	区分1

4 職員の状況

- ① 管理者 1名（兼務）
- ② サービス管理者 1名（兼務）
- ③ 世話人 2名（非常勤、専任）

平成25年度より、2名の世話人となる。

5 行事の実施

法人内の施設行事に参加。

6 職員研修

県社協、市社協、知的障害者施設協会等の研修にも順次参加した。

日時 平成27年3月31日（火）午後13時30より15時30まで
職員全員で「障害者の人権」について学習会を行った。

平成26年度事業報告

社会福祉法人 小田原支援センター

小田原市地域活動支援センター

小田原スプリングス

1 はじめに

地域活動支援センターとして3年目が経過しました。本人の希望に沿って、精神障害者、知的障害者、身体障害者等が利用しています。

27年3月31日現在、精神障害者が14名、知的障害者が3名、身体障害者が1名利用しています。

2 利用者の状況

年度当初は17名の在籍登録者で、数名の人の出入りはありませんでしたが、落ち着いた1年間を過ごしました。

月	開所日	在籍利用者数	延べ利用者数	1日平均の出勤人数
4	20	17	202	10.1
5	20	18	192	9.6
6	22	18	248	11.3
7	22	18	252	11.5
8	16	19	174	10.9
9	22	19	240	10.9
10	23	19	228	9.9
11	20	18	185	9.2
12	20	18	205	10.3
1	21	17	181	8.6
2	20	18	164	8.2
3	23	18	202	8.7
計	249			平均 9.9人

3 職員の状況

管理者（兼務）	1名
常勤（専任）指導員	2名
非常勤指導員	1名

4 援助の状況

(1) 生産活動

毎日通所出来る方から、週に3日程度、月に2~3日利用する方まで様々な方が利用しており、作業種目としては、陶芸、紙漉き葉書、編物等の施設内で自己完結が可能な自主製品の製作と、ノルマのあまりないシール貼り、箱折り、封入作業を導入し個々の作業能力、本人の希望によって作業種目を選択できるようにしています。

工賃支給状況

月	支給総額	工賃 最低~最高
4	78,400円	800~10,700
5	68,300円	300~9,400
6	94,200円	200~12,600
7	90,300円	200~11,500
8	78,700円	400~10,000
8月賞与	41,800円	100~5,500
9	87,700円	100~12,800
10	78,000円	100~11,300
11	84,600円	100~13,400
12	76,200円	100~12,100
12月賞与	37,400円	100~6,000
1	56,600円	300~9,700
2	66,400円	100~12,400
3	60,800円	100~10,700
計	999,400円	月平均 5,047円

(2) 文化・創作活動

多くのボランティア（20名余）の技術指導等の協力を得て、陶芸、七宝、絵画、書、絵手紙、パッチワーク、刺し子、音楽、編物の文化・創作活動を日常生活に取り入れ、定期的に展開してきました。これらの活動をとおして利用者は意欲的に物事に取り組む生活態度や自信を培い、豊かな心と潤いのある生活を過ごすことができました。これらの活動の成果は、10月に市内中里のダイナシティ（SEIBU デパート）、及び3月には市内小八幡の三寶寺にて作品展を開催し、障害福祉の大切さを市民に伝えることができました。

(3) 行事の実施

月	内 容	場 所 等
4	しゃぶしゃぶ昼食会	しゃぶ葉
5	バス旅行	伊豆方面
6	津波避難訓練	小田原ビジネス高校にて
6	みんなの集い	小田原アリーナ
6	避難訓練	支援センター
9	夕涼み会	支援センター
9	バス旅行	東京方面
10	避難訓練	自治会との合同訓練
10	作品展	ダイナシティウエスト
11	ボウリング大会	シティモール
12	落語鑑賞	寿 庵
12	忘年会	海鮮ふじ丸
12	クリスマス昼食会	各事業所にて
1	成人と永年勤続を祝う会	小田原市民会館
3	健康診断	神山クリニック
3	納め会	強羅、太陽山荘
3	作品展	小八幡 三寶寺

*年6回誕生食事会を実施。(2ヶ月に1回)

健康診断、自治会と合同避難訓練、津波避難訓練を実施しました。

5 職員研修

県社協、市社協、知的障害者施設協会等の研修にも順次参加した。

日時 平成27年3月31日(火)午後13時30より15時30まで
職員全員で「障害者の人権」について学習会を行った。